


# 9・10月の展覧会 プレスリリース

「 狩野宏明 展 -爆発するマリア- 」  
2019年9月27日（金）～10月12日（土）

「 佐々木怜央 展 -空想と現実- 」  
2019年10月25日（金）～11月9日（土）

会場：ギャラリー広田美術  
開廊時間：11：00-19：00（日祝休廊）



# 狩野宏明 展

爆発するマリア



「爆発するマリア」

60.6×50.0cm

油彩・パネル・綿布 2019年

ギャラリー広田美術では、2019年9月27日（金）から10月12日（金）まで、「狩野宏明展 -爆発するマリア-」を開催いたします。

狩野宏明は筑波大学で博士号を取得後、文化庁の海外研修でフィレンツェに2年間滞在、現在は制作をしながら奈良教育大学の准教授として活躍している大変優秀な作家です。

本展では、15世紀イタリアの画家フランチェスコ・デル・コッサの「受胎告知」に発想を得て作品を制作しています。

狩野は「受胎告知」を画集で眺めていた時、大天使ガブリエルの身振りが、何かのボタンを押しているように見えたといい、ガブリエルのその行為をきっかけに、画中に描かれた聖母マリアが大爆発を起こす、というヴィジョンの着想を得たようです。

副題ともなっている《爆発するマリア》には、決して破壊や暴力といった爆発ではなく、想像的で生命力を持った爆発を意味しています。また、《ボタンを押すガブリエル》は「選択」と「賭け」の象徴とし、唯一の現実を生み出すと同時に、無数の可能世界を生み出す分岐点となるこの「選択」と「賭け」を肯定的に表現することができないか試みています。

「私は《ボタンを押すガブリエル》と《爆発するマリア》を主なモチーフとした本展の作品群において、様々な課題を抱えながらも日々の「選択」と「賭け」によって、無数の可能世界の中からこの唯一の現実世界を協働して作り上げている生命の躍動と連関を表すことを試みている」という狩野の大作を含む約15点の新作展です。ぜひご覧いただきますと同時に、ご紹介くださいますようお願い申し上げます。

# 狩野宏明 略歴

1983年 山形県生まれ

2010年 筑波大学大学院博士後期課程人間総合科学研究科芸術専攻 修了 博士号取得（芸術学）

2010年～2012年 文化庁新進芸術家海外研修制度によりイタリアのフィレンツェに滞在

## 主な展覧会

2018年 船岳紘行×狩野宏明 二人展 神話とサイボーグ／北海道教育大学（北海道）

個展「狩野宏明展 SCAFFOLDING」（最上川美術館・真下慶治記念館／山形）

2016年 個展「狩野宏明展（シュル）レアリスム旅行団」／ギャラリー広田美術

2015年 個展「狩野宏明 ツギハギノオクユキ」／ギャルリ・サンク（奈良）

個展「狩野宏明展 -time travelling painter-」／ギャラリー広田美術（東京）

個展「狩野宏明展 記憶の劇場」／佐藤美術館（東京）

2014年 Art Stage Singapore 2014／Marina Bay Sands（シンガポール）

2013年 個展／ギャラリー広田美術（東京）（同2010年）

第16回岡本太郎現代芸術賞展／川崎市岡本太郎美術館（神奈川）

2011年 狩野宏明、福崎翼展／Locanda degli Artisti、（フィレンツェ）

2008年 個展／アートスペース羅針盤（東京）

2007年 トーキョーワンダーウォール2007／東京都現代美術館（東京）

佐藤国際文化育英財団第16回奨学生美術展／佐藤美術館（東京）

2006年 トーキョーワンダーシード2006／トーキョーワンダーサイト（東京）

2005年 筑波大学芸術専門学群卒業制作展（芸術賞、作品買上）／茨城県つくば美術館（茨城）

# 狩野宏明 展 -爆発するマリア-

## 展覧会概要

会期

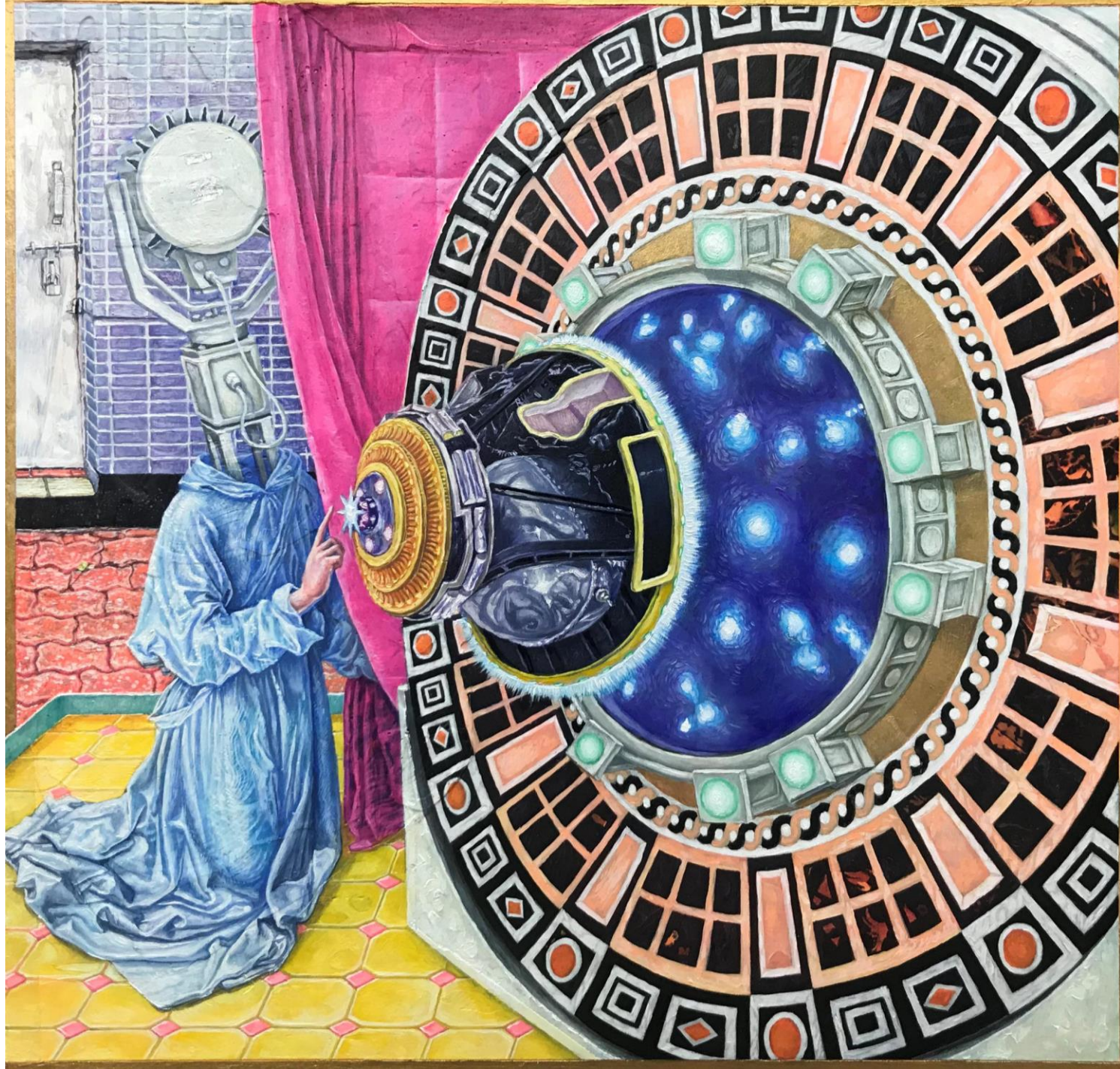
2019年10月27日(金)  
～11月12日(土)

開廊時間

11時～19時(日祝休廊)

会場：ギャラリー広田美術  
東京都中央区銀座7-3-15

右：「Opening gambit」33.3×33.3cm  
油彩、パネル、綿布 2019年作



---

# 佐々木怜央 展

-空想と現実-



ギャラリー広田美術では、2019年10月25日（金）から11月9日（金）まで「佐々木怜央展 空想と現実」を開催いたします。

佐々木怜央は、大阪芸術大学、東京藝術大学でガラスを勉強し、ファッションブランドに勤務後、制作活動を再開した作家です。

佐々木は、過去の人々が思い描き現実的に作り出した旅客機やロボットなどの人工物や、人々の想像の中で膨らみ統一されていった架空生物に着想を得て制作をしています。

「空想と現実」の間に行われた様々なプロセスに強く興味を持っており、ファッションブランドに勤務をしていた際に、個人によってデザインされたものが様々な人の手を介しながら形になっていく過程を体験し、自らの関心が造形物にあることを強く再認識したようです。

ギャラリー広田美術で初めての個展となる本展では、ガラスによる立体作品に、初の試みとなる平面作品も加えた新作約10点を展示予定です。ぜひご覧いただきますと同時に、ご紹介くださいますようお願い申し上げます

参考作品：「幻想動物」 25.0×10.0×10.0cm ガラス 2019年作



# 佐々木怜央 略歴

- 1990 青森県生まれ  
2012 大阪芸術大学 卒業  
2014 東京藝術大学大学院 美術研究工芸専攻ガラス造形研究室 終了

- 2011 高円寺殿下記念根付コンペティション入選  
2012 アメリカ・コーニングガラス美術館、NEW GLASS Review33 選出  
2015 チェコ・スタニスラフリベンスキーアワード入選  
15年から18年まで服飾ブランドに勤務、デザイナーとして活動  
2018 アートフェア東京2018（ギャラリー広田美術ブース）  
EARLY SUMMER EXHIBITION（ギャラリー広田美術・東京）  
個展「from my childhood」（青森/弘前市立百立町展示館）  
2019 アートフェア東京2019(ギャラリー広田美術ブース)  
個展「江ノ島→真夏の少し前→遠足→空想展」（神奈川/Gigi）  
「藝大の猫展」（東京/藝大アートプラザ）





# 佐々木怜央 展

-空想と現実-

## 展覧会概要

会期

2019年11月25日(金)

～11月12日(土)

開廊時間

11時～19時(日祝休廊)

会場：ギャラリー広田美術

東京都中央区銀座7-3-15

右：「太陽から切り取った魚」

ガラス 2019年作



この展覧会に関するお問い合わせは  
ギャラリー広田美術  
担当 江上美穂 までお願い致します。

[info@hirota-b.co.jp](mailto:info@hirota-b.co.jp)

株式会社ギャラリー広田美術  
104-0061 東京都銀座7-3-15 ぜん屋ビル1階  
T 03-3571-1288 / F 03-3571-1293

ギャラリー  
広田美術

GALLERY HIROTA FINE ART